

Rich ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第172号

ななえ古写真物語 VOL. 172

道を探る

道路舗装化の歴史

昭和36年ごろ

大沼駅前



現代において道路は、車の移動を主眼として
いるため、ほとんどが舗装化されていて、砂利
道や地面がむき出しとなった道路の方が少ない
だろう。しかし40年ほど前は、町なかの道で
も、舗装と砂利が入り交ざっていたと記憶す
る。インフラが整備され、利便なくしが当
たり前に思うほど、慣れてしまい過ぎて、もはや
私たちは、舗装道路のありがたみを忘れてし
まっているような気がする。

ところで、七飯町の道路史をまとめた文献は
少なく、せいぜい町史などの一項目に記される
くらいで、道路史で一冊にまとめられたものは
ないと思う。舗装化となるとさらに記載は少な
く、『七飯町史』の巻末年表の昭和36年4月
の欄に「国道の舗装成る。」とあるが、詳細は
記されていない。この「国道」とは、町を縦走
する国道5号であるが、道道や町道について
は、なおのこと明記されていないため、今後調
査し記録をまとめる必要がある。

上の写真は、そんな『七飯町史』の中の「写
真集」という章に掲載されているもので、説明
も道路舗装工事としか書かれていない。他にも
一枚並列し掲載されているが、小さな写真なの
で、一見しただけでは、場所の特定は難しく、
スキミングし画像データとして再確認した。

まず、場所の特定で最も手がかりとなったの
は、舗装工事をしている奥にある茶色(?)の
建物だった。画像を拡大して建物の形、窓の配
置、煙突の位置などから大沼駅であると予測、
当館で所蔵する別の大沼駅写真と照合して、間
違いのないことを確認した。工事施工年につ
いては、残念ながら有力な資料を見いだせなかつ
た。年表にも本文にも大沼駅前道路の舗装化に
ついては触れられていない(写真は掲載されい
るのに)のだ。ただ、昭和36年に七飯駅前道
路が舗装化されているので、同じ頃ではないか
と考えているし、町史にこの写真が掲載されて
いることから、少なくとも昭和40年代までに
行われただろうと推測している。

工事の様子を見ると、歩道と車道を区分けす
る縁石が並べられ、砂利を敷きローラー車で転
圧しているのは、今とさほど変わらない工法で
あるが、重機の形に年代の違いを感じる。古い
住宅地図と照らし合わせ、右側に軒を連ねる建
物も、手前から木工彫芸製作所、整骨院、自転
車屋であることがわかった。また、現在大沼駅
前にあるモニュメントは見受けられないなど、
現在と比較しながら調べる時間も、古写真の楽
しみ方のひとつである。もし、昭和な七飯町を
写した写真をお持ちの方は、ご連絡頂きたい。

16日 都市の植物種多様性を考える

皆さんは、生態系サービスをうまく活用することを目的とした「グリーンインフラ」という言葉は聞いたことがありますか。夜の博物館第4夜は、そんなちょっとアカデミックな話題にはじまり、生物多様性が私たちの生活にどのように役立っているのか、都市でどんな野生植物が生育しているかなどを、北海道教育大学函館校の村上健太郎氏にお話しいただきました。

生物多様性を守ること自体が難しいという、衝撃的な現実も知りましたが、庭を活用して小さな自然を生み出すことは、個人レベルでの保全活動につながるそうです。環境保全について、私たちが出来る事の重要性を知る時間となりました。

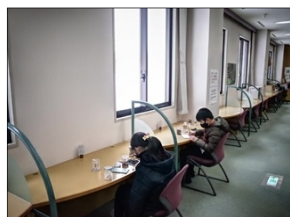


18日 ジュニア探検クラブ閉講式

新型コロナウイルスの蔓延のため、募集人数を減らしたにもかかわらず、中止が多かった今年のジュニア探検クラブ。最後のプログラムは「閉講式」でした。

活動の様子をスライドで見ながら、一年を振り返る時間。子どもたちには、一人ずつ感想を話してもらいました。その中で、心に残ったプログラムが、駒ヶ岳登山や、駒ヶ岳をいろいろな町から見てスケッチするものだった声が多かったです。普段足をのばさない場所で見えたものや感じたものが、深く印象に残ったのだと思うと、中止になったプログラムの多さが悔やまれました。

最後には歴史館から、参加者全員にループをプレゼント。雪の結晶や植物の種、昆虫標本などを観察し、ミクロの世界の驚きにふれてもらいました。この活動から離れても、多くのものに興味をもって観察する心を持ち続けてほしいと願っています。



5月の予定

1	日	企画展「縫う、繕う」
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	企画展最終日
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	ピチャリ第173号発行
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	ジュニア探検クラブ
29	日	
30	月	
31	火	

5月の休館日はありません

企画展「縫う・繕う」開催中

ただいま、企画展「縫う・繕う」を開催中。展示室で縫い物の展示や、縫い物の歴史を学ぶことができます。ぜひご覧ください。



編集後記 ~tawagoto~

この間、マヒワの群れが文化の森に訪れていた。ああ、もうそんな季節なんだと思う。忘れがちだが、季節を感じるのは天候だけではない。日々、私たちの周りでは、時が移ろっている。気づいた者はそれを楽しむことができるのだ。そんな感性を育むお手伝いが当館の役割のひとつだと信じ、長い間尽力してくれていた職員が退職の運びとなった。当館を支え続け、変化をもたらしてくれたこと、感謝しています。本当にありがとうございました。

Pichari ~ピチャリ~
第172号

令和4年4月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp